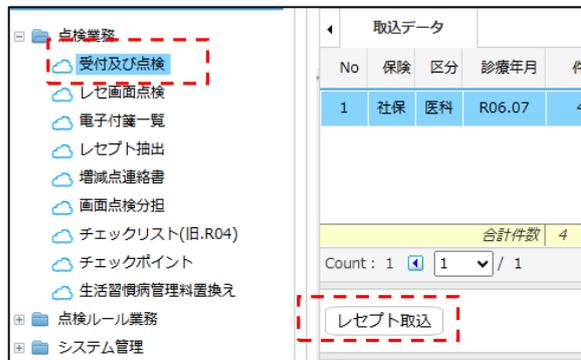


WebORCAクラウド連動

機能概要

WebORCAクラウド連動とは、WebORCAクラウドソフトからレセプトチェッカーに自動でレセプトデータを取り込む機能です。



ナビゲーションウィンドウの「受付及び点検」->「レセプト取込」をクリックします。



上部のタブで、「WebORCA クラウド連動」タブをクリックします。

初期画面

「接続先設定」と「レセ電データ取込」タブがあります。



接続先設定

WebORCAクラウドと連動するためには、まず接続に必要な情報を登録します。



- ① [ファイル選択]をクリックしてORCAから受け取った情報を登録します。
 - WebORCAからもらった証明書 情報(ファイル3件)
 - クライアント証明書(000000__JP_u00000000_client0000.crt)
 - クライアント証明書 秘密鍵 (000000__JP_u00000000_client0000.pem)
 - 証明書パスワード(000000__JP_u00000000_client0000.pass)

* 証明書ダウンロード方法は[WebORCAから証明書ダウンロード方法] (3P)を参照してください。



1. [ファイル選択] ボタンをクリックします。
2. 証明書情報ファイルをドラッグします。
3. [アップロード]ボタンをクリックします。

- ② [日レセAPI ユーザ] を登録します。(デフォルト:ormaster)
- ③ ORCA から受け取った[API キー] を登録します。
- ④ [Test Connection]ボタンをクリックして接続テストを実施します。
- ⑤ [デモ用]はチェックを外します。
- ⑥ 接続テストが正常であれば、変更ボタンをクリックして①②③の登録情報を保存します。

レセ電データ取込

WebORCAクラウドと連動して、WebORCAクラウドからのデータをレセプトチェッカーに取り込みます。

- ① 診療年月を選択します。
- ② 提出先を選択します。(社保, 国保, 後期)
- ③ 入院/入院外区分を選択します。(入院, 入院外, 入院+入院外)
- ④ 処理区分を選択します。(デフォルト: レセ電データ作成)
- ⑤ レセプト取込が完了すると、自動的に [病名点検、精密点検] を実行します。
- ⑥ [レセプト取込] ボタンをクリックします。

選択ウィンドウが表示されたら、OK をクリックします。

左のメッセージが表示されたら、①～③の値を確認します。

左のメッセージが表示されたら、入外区分を確認します。

- ⑦ 処理状況が画面に表示されます。

```
16:36:34 <- レスポンス (E70) 処理中です【レセ電ファイル作成 (社保・入院外)】
16:36:33 -> リクエスト (02) 処理実施
16:36:32 <- レスポンス (000) 処理実施終了
16:36:32 -> リクエスト (
16:36:31 <- レスポンス (000) 情報取得終了
16:36:31 -> リクエスト (00) 情報取得
```

WebORCAからの証明書ダウンロード方法

WebORCAクラウドと連動するための証明書をダウンロードします。

(WebORCAガイドを参照してください。)

システム管理サイト(本番) URL <https://ctrl-cmo.cloud.ORCAmo.jp>

システム管理サイト(デモ) URL <https://demo-ctrl-cmo.cloud.ORCAmo.jp>



② 証明書管理をクリックすると、クライアントリストが表示されます。



③ クライアントを選択すると、申請が完了した証明書の詳細が表示されます。

